



熊野那智神社

宮司 井上 幸太郎 さん

「人と人がつなぐ縁。
それがいつか大きな円に」

緑の木々に囲まれ、運が良ければ小動物にも出会える。市内を一望できる小高い丘の上にその神社はあった。少し高い場所のせいかな空気が澄んでいるように感じる。

「先代の宮司が亡くなってから、氏子さんたちがこの場所を守ってくださいました」。柔らかな口調でそう話すのは、宮司を務める井上幸太郎さん。

愛知に生まれ民俗学を学ぶため東京の大学へ、そして岩沼市にある神社に14年間奉職。その後、縁があり現在の熊野那智神社へ。

境内で開催されるマルシェは、地域の人たちの集いの場にもなっている。ときにはバンド演奏や落語家を呼ぶことも。披露する場がないという声を聞き、境内を活用してもらおうと考えたそうです。「私は、みんなのためというときにはみんなの中に自分も含めるようにしています。誰かのためではなく自分も楽しむことが大切だと思っています」。多くの人が集まるのは、この人柄があつてこそ。

「困ったときはお互い様。私もよく人に助けられるため、誰かを助けたいと思っています」。井上さんは「縁」の大切さを語ります。

感染症や時代の流れにより、人と人の繋がり方が変化していく中、できることやっていく。その強い思いで、今日も縁で人と人を結んでいく。

Friendship with Canada



名取市中学生海外派遣事業

名取市では、中学生海外派遣事業として平成3年度から派遣団がカナダとオーストラリアへ訪問しています。

新型コロナウイルス感染症の影響で令和元年度から中止していましたが、4年ぶりの再開が決まり、1月20日に団員の抽選会が行われました。

総勢65人の応募があり、その中から抽選で選ばれた22人の中学生がカナダへ出発します。

派遣団に選ばれた皆さんはこれから、研修などを経てカナダへの旅支度を進めていきます。



問 などの魅力創生課国際交流・広報係 ☎724-7143